

7/30 木曜

維新・馬場代表暴言に批判 各界の談話



(写真・橋爪拓治)

支持する有権者も否定

政治の存在を否定するところの発言は、基本的に民主義と相違しません。は、相手の存在を認めている政策論として、他覚の政策が一致できないところです。存在を否定し、それはあります。その点での批れがなくなつた方がいいと

こういった発言は、その前提を否定する発言です。

一つの政党、公の役割を果たしている公党の存在を否定するところでは、その行動を支持してゐる他の有権者を否定するところ

人々の声を否定するのです。馬場氏の発言は、民主義の否定につながるもので、公党の代表の発言としては不適切な発言と確めていくと思います。

馬場氏は日本維新の会を「第2国民党」と称して肯定し、共産党や立憲民主党を批判します。政党の存在を否定する発言と合わせて

なります。政党には、政策に共感し、党を支えてくれている多くの国民がいまして、あることは、その政党の候補者を支えている支持者が何千、何万人といふわけです。その人たちはそれが政治的意図をその政党に託すのです。公党の存在を否定することは、その政治的意図をその政党の存

在といふのは不可欠です。これが、多様な政党の存

法政大学大学院教授(政治学)

白鳥 浩さん

自民党と維新だけでは政策的選択肢にならず

一面のつづき

おもに、自民党と維新だけでは、国民にとって明確な政策的な選択肢とはなりません。維新は基本的に、防衛費も子育て政策も、自民党に統論で賛成です。相違があるのは政策実行のための財源の点です。政策的な対立軸はないのです。維新的議論は、財源をどこから確保するとか、身を切る

白鳥浩 法政大学大学院教授に聞く

しらとり・ひろし
1968年生まれ。法政大学大学院教授。専門は政治学と現代政治分析。著書は『政権交代選挙の政治学』『市民、選挙、政党、国家』など。

改革が足りないところも

の問題でも、入管法でも、与党に賛成して法案を通しています。維新と自民党は政策的にさほど変わりがないので

す。

日本の政治に緊張感がないことを懸念しています。自民党が提起する」として、国民とともに議論もせずに、そのまま流されてしまうなどといふ

があります。しかし、個々の政策を見ると、國民が本当に望んでくるかといったところに、单なる野党になつてはいけません。政

中で、何のための野党共闘なのか、單なる野党に

なってはいけません。政策的にすり合わせて、今までも、野党としての対案を示していくことが大事だと思します。

政治に緊張感を持たせるために、野党のあり方も、与党をただす」とともに、野党としての対案を示していくことが大事だと思します。

野党共闘をやつしていくとしました。ナチスヒトラーを想起します。「ナチス・ドイツのヒトラーを想起します」と語られ、発言の撤回と謝罪を求めました。ナチスは、ユダヤ人や共产党者を弾圧し、消し去る

メディアの調査を見て

す。共産党の志位和夫議員も書っているように

あることは懸念を表明して

います。にもかかわらず、岸田政権は国民の

いじめ

と極めて大事だ

と願っています。

かつて、維新は、立憲民主党の首相経験者から

本邦の政治に緊張感があるため、野党のあり方も、与党をただす」とともに、野党としての対案を示していくことが大事だと思します。

野党共闘をやつしていくとしました。ナチスヒトラーを想起します。「ナチス・ドイツのヒトラーを想起します」と語られ、発言の撤回と謝罪を求めました。ナチスは、ユダヤ人や共产党者を弾圧し、消し去る